
2020年3月20日号

☆☆☆ 創作者のためのマーケティングエッセンス ☆☆☆

——2020年3月20日号 ゼロになることに不安を感じるようなら——

produced by <相羽裕司 (あいばゆうじ) >

<http://aiba.livedoor.biz/>

どうも、相羽です。

前回のメールから引き続き。

僕は専門家というわけじゃないので、
大きく発信するとかは控えておりますが、
新型コロナウイルス関連の状況については、
日々、
色々な分析レポートとかを追っていたりしております。

そんな中で、
ここ数日のもので、
メルマガの読者さん向けくらいの感じで
シェアしてみてもいいかな……
と思ったものをまたまた3つくらい URL をのせてみますね～。

●日本でも大都市がロックダウンとなる可能性はあるので備えておきたい方向け
(本田健さんの動画、最新のもの) ↓

<https://www.youtube.com/watch?v=1-Nhz3lhBo&feature=youtu.be>

●現時点で新型コロナウイルスに関してどれくらいのことが分かっているのか整理しておきたい方向け ↓

<https://st.benesse.ne.jp/ikuji/content/?id=68697>

● 昨晚（3月19日）に発表された政府の専門家会議の見解はちゃんと一次情報を読んでおいた方がよい（19PのPDFも是非読んでみてくださいね） ↓

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00093.html

ロックダウンは、
封鎖という言葉は強いですが、
ある程度強制力が伴う移動の制限みたいなイメージですかね。

オーバーシュート（現在のヨーロッパのような患者数の爆発的増加）の傾向が見られたら、
日本でもやると、
昨日の政府の専門家会議の見解にもやんわりと書いてあります。

今後イギリスやアメリカもやるとしたら
どのくらいの規模でやるのかとかによりそうですが
（日本はアメリカに習う傾向があるので）、

日本でもいよいよやるとなっても、
そんなにも動揺したりせず、
あ、でも東日本大震災の時とか、
これくらいとか、
あるいはもっと大変だったよな～と思ったりしてみてください。

もしやるとしても震災の時（の東北）と違って
物流が止まるというわけではないので、
上記の本田健さんの分析で言う第五段階くらいのロックダウンにまでなったとしても
日用品の買い物とかは順番制で並んで買うとかに
なる感じくらいの可能性が高いので、

各々身近な人たちと協力して乗り切って頂けたらと思います。

僕とか、

震災の時は電気も水道も止まって道路も壊れて物流も滞り、
いわばもっとすごい強制ロックダウン的な状況にしばらくいましたから（笑）、
今回はあるとしても
人的に政府主導でなされるものなので、
まあ、あの時に比べれば……という感じです。

震災の時は僕も何時間も並んで買い物をしましたが、
加えて、

あの時は東京電力福島第一原発事故の状況がよく分かってなかったので、
断片的に入ってくる情報・分析を元に、
スマホで放射線の数値をチェックしながら

（福島の大気中の放射線を測定する装置は当時しばらく機能していませんでしたが、
宮城県の女川の方がまだ機能していてネットで見られたのです。）、
一年間の人間の許容量とされている放射線の値的に、
現在の放射線の数値だと、
何時間くらいまでなら外にいて大丈夫か、
とか、

そういうことも複合的に考えながら買い物に並ぶ……
ということをやっていたので、
頭も体もけっこう大変でした。

今回はそういうことがないだけでも負担は減ってる感じです。

飛沫感染を警戒して2メートル置きに並ぶ、
接触感染を警戒して買い物のあとは必ず手を洗うとか、
そのくらいの「分かってる」警戒をしながらの
「並んで買い物」で済むんじゃないかと推定します。

僕は状況はやや違えど、

そういうロックダウン的な状況で買い物に並ぶとかは経験済みなので、
あ、既に震災の時にけっこうな人数の日本人が経験していることでもあるのねん、
というか、その時よりはマシっぼいのねん、
くらいの捉え方もありなんじゃないかと。

何だかんだで、
だいたいの日本人は真面目でちゃんと並ぶんだな～
というのが経験できるんじゃないかと思います。

試練的な状況とは捉えられますが、
乗り越えられる勝算はある試練なのではないかと。

あとは、
今回の新型コロナウイルスにまつわる騒動で、
何かしら「ゼロ」になったとしても、
まあ、
その時は新しいことを始めてみようかくらいの
心持ちでいちゃうことですかね。

特にこの後、
新型コロナウイルスにかかっちゃったとかよりも
（報道もされている通り、
現在のデータでは高齢者などの高リスク者でなければ軽症で済む人の方が多いとのこと
です。

油断はいけません。）
経済的な面で、失業しちゃったとか、
何かしら「ゼロ」に近い状態になる方は
けっこう出てきちゃうと思うのですが、

これも、
僕も震災の時は「ゼロ」までいかないけど
かなりそれに近い状態になりましたし、
東北で生きてると、
家も壊れた、仕事も失ったと、
ほぼあの時「ゼロ」になったけど、
少しずつ復興して今も何やかやと生きている、
それでもそれなりに笑顔も見られる、
というような人は、日常的に身近にいます。

僕なんかに関しては、
震災を経験したからこそ、
その後書く事ができた、
一連の震災も題材に絡めた小説群とかは、
自分の人生レベルでも書けて良かったな～、
一つこの世に生まれてきた本懐をなせたかもな～
と思っております。

けっこう、
「ゼロ」に近い状態になったからこそ
見えてくる新しい景色というものもあって、
それと出会って、
何かもっと自分の本来性に合ったことを始められたりとか、
そういう可能性もあるな、
と捉えられたりもするということです。

「ゼロ」になるかも！
もうダメだ～とか思いつめ過ぎずに、
でも待てよ、
そうなったらなったとして、
どういう次の自分に出会えるんだろう？
と、
希望とまで前向きな言葉は使いませんが、
「好奇心」のようなものを心のどこかに持っておくと、
けっこう「お守り」になったりすると思います。

良い知らせとしては、
一区切り感がある出来事としては、
未来のどこかで、
「ワクチンが開発される」
「かなりの程度効果的な治療法が確立される」
という事象が起こる可能性が高いので、
(正確には、ワクチン自体は（おそらくいくつかのパターン）

既に開発されているのだけれど、安全性を
確認するのに1年くらいかかるという話も読みました。）
この騒動もいつかは終わります。

そこまでの一区切り感はすぐにはこなくとも、
このまま、
まずは日本において、
うまく

RO（ある感染者がその感染症に免疫を全く持たない集団に入ったとき、
感染性期間に直接感染させる平均の人数）
の数字が1より低い（理論上の感染拡大が抑えられる指標）
状態になったというルートに入れる……

な感じになって、
警戒は続けながらもある程度早めに暫定的な日常が
戻ってくる可能性もあります。

うまく数ヶ月後くらいになるのか、
けっこう年単位でかかっちゃうのか、
今の段階ではなんとも言えませんが、
アフター新型コロナウイルス騒動後の世界は、
やってきますし、
その時、
このメルマガの読者さんのだいたいは生きている可能性が高いです。

その時、
何をしようかな〜と、
今から考えてみたりして頂けたら、
心の状態的にも、
けっこう楽しさとかも感じたりするんじゃないかと。

もし、
ロックダウンとかにまでなったら、
家の中でそんなにもやることもないので、
準備するにはチャンスだったりもするかもしれないですし。

僕としては、
騒動が収まってきましたら、
少し新しい活動として、
「宿屋を開きたい」と思ったりしています。

いきなり物理的な宿屋は
能力的、資金力的に開けないので、
まずは、精神的な意味での。

「宿屋」って急に何？
と、若干好奇心が動いて頂けたでしょうか（笑）

不安とか不調とか出てきたら時々横に置いて休みながら、
また歩いていく感じで過ごしているうちに、
けっこう状況は少しずつ良い方に変わっていたりもします。

まずは今回の新型コロナウイルスにまつわる騒動を終えた地点まで
色々な人たちと協力しつつ

（本田健さんが仰ってたように、
家族や友人関係を見直すきっかけになるかもというのは、
基本的にはいいこととも思います。）

やってきてもらって、
僕がやろうと思っている宿屋って何なんだろうと、
見に来て頂けたらと思います。

それでも何か不安だ、
という方は、メールを送ってみてください。

aibayuji@gmail.com

全部にお返事できると確約はできませんが、
ここ数日近い人に送っていたメールなどを切り貼りしつつ、
なんかメッセージもそえたようなメールなど、
お返事させて頂けるかもしれません。

こういうのも、
僕としては「宿」的な活動の
はしりかもしれないですね！

ではでは！

今回もメールを通じてご縁を頂きありがとうございました！

引き続き復興に関係するような活動、
世の中に余裕を作っていく的な活動、
などなど、
今後もコツコツとやっていきたいと思っております。

相羽裕司

◇マーケティングを学びながら
豊かな創作&収入ライフを実現するメルマガ
「創作者のためのマーケティングエッセンス」

◇発行責任者

相羽裕司（あいばゆうじ）

◇ご意見・ご感想のメールをお待ちしています。

e-mail : aibayuji@gmail.com

◇登録・解除はいつでもこちらでできます。

<http://www.mag2.com/m/0000231635.html>

◇メルマガ発行元

まぐまぐ (<http://www.mag2.com/>)

◇発行者、相羽裕司の Blog

▼創作関係：ランゲージダイアリー (<http://aiba.livedoor.biz/>)

◇Twitter

<http://twitter.com/sabishirokuma>

◇Enty

<https://enty.jp/aibayuji>

◇pixivFANBOX

<https://www.pixiv.net/fanbox/creator/559011>

●新作短編小説『橋姫影物語』／カクヨム（完結いたしました～。）

<https://kakuyomu.jp/works/1177354054890970912>